

令和2年度事業報告書

令和2年度においては、国民の食生活の向上並びに畜産業及び食肉産業の近代化に資するために、以下の事業を実施した。

I 公益目的事業に関する事項

一般消費者向けに食肉の安全・安心、栄養及び機能に関する知識及び情報（以下、「食肉に関する知識及び情報」という。）の収集並びにそれらの提供、食肉の生産・流通及び消費に関する調査研究等の事業を実施した。

1 食肉に関する知識及び情報の収集並びにそれらの提供

(1) 国産食肉等新需要創出緊急対策事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）

給食を通じて国産食肉の供給安定と利用拡大を図るため、次の事業を実施した。

ア 国産食肉の安全性や栄養に関する理解の醸成を図るためのセミナーの開催、安全性の普及啓発

(ア) 栄養教諭等を対象とした国産食肉の安全性や栄養に関する理解を促進するためのセミナーを4回（岡山県（現地開催）、長野県（オンライン開催）、岐阜県（2回、オンライン開催））開催した。（受講者214名）

(イ) 食肉をめぐる様々な疑問をQ&A方式で解説する「食肉のすべてがわかるQ&A 教えて！食肉の給食利用」（平成28年度に作成）の増補・改訂版を1万1千部作成し、栄養教諭及び学校栄養職員等に配布した。

イ 国産食肉等の利用を推進するための全国協議会の開催、給食献立の提案及び調理講習会の開催

(ア) 学識経験者、給食関係者、食肉流通販売関係者による全国協議会を書面により2回開催し、本事業に係る実施計画及び実施報告が承認された。

(イ) 「国産食肉を用いた学校給食料理集X」（牛肉・豚肉・鶏肉を使用した料理9品とその料理を主菜とした学校給食用献立）を女子栄養大学の協力を得て1万1千部作成し、栄養教諭及び学校栄養職員等に配布した。

なお、同料理集には、「地域名産の食肉を給食に！」の特集記事を掲載するとともに、これまでに開発したすべてのレシピ（総数108）の索引の頁を設けた。

(2) 緊急時食肉安全性等情報提供事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）

国産食肉を取り巻く安全・安心に係る多様な情報の収集・消費者への普及を図るため、次の事業を実施した。

ア 食肉学術情報の収集

医学・栄養学・獣医畜産学等の研究者で構成する「食肉学術情報収集会議」を3回開催し、消費者に提供すべきテーマの選定及び情報の収集計画を作成した。この計画に沿って、「食肉学術フォーラム」委員会を2回開催し、「豚熱（CSF）とアフリカ豚熱（ASF）の現状と課題」、「人獣共通感染症と新型コロナウイルスについて」、「食物アレルギーの現状と課題」等の6課題のテーマについて、学識経験者による講演・ディスカッションを行い、その内容を取りまとめた報告書を作成した。

イ 食肉普及素材の作成等

食肉学術情報収集会議で収集した情報を素材として、PR誌（国産食肉の安全・安心2020「安全対策の現状」）を7千部、パンフレット（ヘルシーパートナー32「食肉生産の最前線」）を1万部作成し、関係者等に配布するとともに、当センターホームページに掲載しコンテンツの充実を図った。

(3) ジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進事業

（(公財) 全国競馬・畜産振興会助成事業）

安全な畜産物の生産環境を保全する上で野生鳥獣の捕獲の強化、ジビエとしての利用の促進が急務となっていることから、一般消費者のジビエ理解の醸成、ジビエ処理加工・流通の高度化の推進等を目的に次の事業を実施した。

ア ジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進委員会開催等事業

学識経験者等から成るジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進委員会を開催し、効率的かつ円滑な事業の推進に関する検討及び事業の達成目標等の自己評価結果の検証等を行うとともに、イベント委員会を開催し、ジビエ試食イベント、ジビエWEBキャンペーンの実施計画・実施方法に係る検討等を行った。

イ ジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進事業

(ア) ジビエ流通高度化研究会の開催

野生鳥獣のジビエ利用で重要な役割を果たしているジビエ処理加工施設の持続的な発展条件等を明らかにし、ジビエ処理加工・流通の高度化の方策等を提言するため、学識経験者等から成る「ジビエ流通高度化研究会」を都内で3回開催（令和2年10月1日、16日、30日）して、ジビエ処理加工施設の関係者等6名を対象にヒアリングを行った。

また、同研究会の成果をもとに「ジビエ流通高度化研究会報告書ージビエ処理加工施設の今後の方向性ー」を作成し、ジビエ関係者に配布した。

(イ) ジビエ広報誌の作成

一般消費者のジビエ理解の醸成を図るため、リーフレット「国産ジビエ 2019 育もう！ジビエ」（前年度に作成したものの要約版）を5千部作成し、イベント等で配布するとともに、当センターのホームページ上で公開して一般の利用に供した。

(ウ) ジビエ試食イベント等の開催

消費者を対象にジビエの魅力を訴求し、その販売を促進するため、「鳥獣対策・ジビエ利活用展2020」（令和2年11月11日～13日、東京ビッグサイト青海展示棟Aホール）に出展して、シカ肉・イノシシ肉の試食イベントを開催した（出展施設：5施設、来場者数：約5,800名）。

また、当選者に景品としてジビエ加工品をプレゼントするWEB上でのキャンペーン（冬のおうちジビエキャンペーン）を実施した。

応募期間：令和2年12月24日～令和3年1月31日

応募者数：9,742人

当選者数：600人（このうち、優れた感想等を寄せた者30名にWチャンス賞として再度ジビエ加工品をプレゼント）

景品出展施設数：6施設

(4) 食肉情報等普及・啓発事業（(公社)日本食肉協議会助成事業）

[催事以外によるもの]

(ア) 知識普及啓発冊子の作成

国産食肉の栄養と機能などに関する正しい知識を消費者に啓発・普及するための知識普及啓発冊子（食肉の栄養・機能と健康2020「食肉でいつまでも元気！」）を2万2千部作成し、関係機関等に送付するとともに、イベント等で配布した。

(イ) パンフレットの作成

食肉の栄養と健康、機能等について平易に解説したパンフレット（ヘルシーパートナー31「再確認！食肉の力」）を4万部作成し、関係機関等に送付するとともに、イベント等で配布した。

(5) 食肉産業展出展事業（(公社)日本食肉協議会助成事業）

食肉に関する知識普及及び情報提供を図るため、食肉産業展イベント（令和3年3月9日～12日、千葉県幕張メッセで開催、入場者数約2万6千人）に出展し、パネル展示及び普及冊子の配布等を実施した。

2 食肉の生産・流通及び消費に関する調査研究

(1) 国産食肉等新需要創出緊急対策事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）

脂肪交雑以外の新たな商品価値に着目した国産牛肉、国産豚肉、国産鶏肉並びにそれらの内臓のバリューチェーン構築の取組を調査・分析・検討し、全国に普及させるため、次の事業を実施した。

ア モデル地域など優良事例の現地調査

優良事例調査委員会を3回開催し、そこで決定した調査方針に従い、優良事例調査を6ヶ所実施した。

イ 成果の発表会の実施

商品性創出事業の事業実施主体を一堂に会した成果の発表会を開催して情報を共有するとともに、焼肉ビジネスフェア2021（東京開催：令和3年1月20日～21日、池袋サンシャインシティコンベンションセンターで実施）において、4事業実施団体による事業成果を展示する予定であったが、コロナ禍のためこのフェアが中止となった。

ウ 成果の取りまとめ、普及資料の作成・配付

アの優良事例調査に関する調査報告書を作成し、関係者等に配布した。

(2) 緊急時食肉安全性等情報提供事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）

[食肉の安全・安心に関する意識調査の実施]

食肉意識調査検討委員会を開催して調査方針を決め、消費者1,800人に食肉の安全性に関する意識調査（「家畜疾病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識」、「代替肉（植物肉）に関する消費者意識」、「新型コロナウイルス感染症の流行に伴う食肉に係わる食生活・購買行動の変化」）等をインターネット調査により実施し、その結果を調査検討委員会で分析・取りまとめ、ホームページに掲載した。

(3) ジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進事業

（(公財) 全国競馬・畜産振興会助成事業）

ジビエに関する新たな知見の獲得を図るため、次の事業を実施した。

ア ジビエ関係文献の収集・整理

ジビエ利用に関する様々な文献を収集し、このうち24文献について抄録を作成した。

イ ジビエにおい成分等の分析

女子栄養大学（研究責任者：西村敏英 同大学教授）に委託して、シカ肉の香りの特徴と香気成分の分析、4つの異なる地域（北海道、和歌山県、徳島県、宮崎県）で捕獲されたシカ肉の機能性成分（イミダゾールジペプチド、遊離アミノ酸等）の違い等について分析を行った。

II 法人の管理運営に関する事項

1 役員等の異動

令和2年	6月19日	理事	桑田義文	任期満了
		理事	宮崎昭	任期満了
		理事	木下良智	新任
		理事	齊藤良樹	新任

2 会議

(1) 理事会

ア 令和2年 6月 2日（定款第37条による「書面決議」）
提案事項 ①令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件

②令和2年度定時評議員会の招集に関する件

提案事項について全員の同意がなされた。

イ 令和2年 6月19日
議案 理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の選定に関する件

原案どおり承認された。

ウ 令和3年 3月 3日（定款第37条による「書面決議」）
提案事項 ①令和3年度事業計画及び収支予算に関する件

②臨時評議員会の招集に関する件

提案事項について全員の同意がなされた。

(2) 評議員会

ア 令和2年 6月19日（定款第21条による「書面決議」）
提案事項 ①令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録
の承認に関する件

②理事及び監事の選任に関する件

③令和元年度事業報告について

提案事項について全員の同意がなされた。

イ 令和3年 3月19日（定款第21条による「書面決議」）
提案事項 令和3年度事業計画及び収支予算に関する件

提案事項について全員の同意がなされた。

3 監査及び検査

(1) 令和2年5月15日、当センター会議室において、公認会計士事務所による令和元年度決算等の調査指導を受けた。

(2) 令和2年5月21日、当センター会議室において、令和元年度事業報告及び財務諸表等に係わる監事による監査を受けた。

4 令和元年度決算等の提出

令和2年度第1回理事会及び定時評議員会において承認された令和元年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書等により令和元年度決算等を内閣府に提出した。

III 事業報告附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成しない。